

# 1. 評価結果概要表

作成日 2008年11月24日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1273100386
法人名	医療法人社団 再生会
事業所名	グループホーム わかくさ
所在地	〒293-0036 千葉県富津市千種新田676 - 6 (電話) 0439-65-5678

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所		
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港4-4千葉県労働者福祉センター5階		
訪問調査日	平成20年11月20日	評価確定日	平成21年1月5日

## 【情報提供票より】(20年11月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成16年8月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤	4人, 非常勤6人, 常勤換算8.2人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り		
	1 階建ての	1 階 ~	階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費15,000円+実費	
敷金	無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(200,000円)	有りの場合償却の有無	有	
食材料費	朝食	300 円	昼食	600 円
	夕食	600 円	おやつ	200 円
	51,000円/月		1日当たり1,700円	

### (4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	0 名	要介護2	1 名		
要介護3	8 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.7 歳	最低	80 歳		93 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	鈴木病院 じん歯科 平川歯科
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

内房線大貫駅から徒歩5分の長閑な場所に位置し、市内で介護事業を多角的に展開している医療法人再生会を母体とするホームで開設4年目である。解放された玄関を入ると、明るい中庭からの陽を受けたダイニングカウンターの前面には、リビングが広がり明るく解放的である。管理者も職員も生き生きとケアに取り組んでおり入居者の顔も明るく気軽に話しかけられる雰囲気である。管理者、職員の法人内での異動等が多く、介護計画書類等が未整備だった部分もあったが、現状では新管理者が系統的に書類を作成して整備されつつある。管理者の定着により諸々の不備も改善され、ホームの理念である『地域の中で入居者が不安なく明るく安心して普通の暮らしが出来るホーム』の実現に向けての取り組みが期待される。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価報告書を職員の一部は目を通して全員に周知されていない。前回の評価の改善がなされたものとして、理念の明示はされているが、見やすい場所に掲示されるまでに至っていない。地域とのつきあいは、地域の行事等に参加交流しているが更なる充実が望まれる。馴染みながらのサービス利用は、細やかな配慮が見られ、介護計画の見直しは、計画書類等の整備がなされていた。災害対策は、管理者が講習会を受講し書類の整備、訓練を実施した等改善の取り組みが確認された。引き続き改善に向けた取り組みが期待される。
	自己評価は一部の職員と話合って管理者が記入したものを全職員に見せた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 入居者、家族、行政、老人会会長、区長が参加し2ヶ月に1回開催している。、防災訓練等行事ホームの現状報告をして、意見、要望等を聞き、日々のケア向上に取り組んでいる。評価結果の報告はしていない。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:7,8) 家族会はないが、苦情窓口や意見箱設置したり、面会時や行事参加時等に家族からの意見、苦情の汲み取りに努めている。意見・苦情は申し送りノート等で伝達してスタッフ会議で検討し改善を図り運営に反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地元区長の声かけで今年初めて神社の祭礼に参加した。また毎日の買い物時には近隣の人から気軽に声がかかる。初めての防災訓練に当たって、ホーム前の自動車整備工場の駐車場を避難場所として提供の承諾を得た。自治会へはまだの入会していないが今後少しずつ地域に根ざしたホーム実現への取り組みが期待される。

## 2. 評価結果 ( 詳細 )

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域の中で普通の暮らしができること」が基本理念の一番はじめに書かれてあり、事務所と玄関に掲げてある。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事務所に掲示してスタッフ会議などで確認しあい日々のケアに勤めているが全員への浸透にまで至っていない。		見やすく掲示し、日頃のミーティング等で繰り返し確認することにより理念の共有がなされることが期待される。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	今年初めて地元神社の祭礼に参加した、日常の買い物での行き帰りに挨拶をしたり、ホームの敬老会にボランティアによる大正琴の演奏をしてらったりと地域との交流に努めている。町内会への加入がまだされていない。		町内会に加入することにより地域とさらに繋がり行事に参加し情報を交換することで、更なる活動の場が広がることが期待される。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	改善に向けての取り組みは少しずつなされているが、評価の意義が全員に浸透されるまでには至っていない。		評価をねらいを理解し活用を十分にするためにも職員全員での取り組みや意義の理解が求められる。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者、家族、区長、老人会会長、民生委員、介護福祉課職員の出席により運営推進会議は2ヶ月に1回開催され、評価結果の報告はされていないが、ホームの現状、取り組み状況を報告し、出された意見を反映させてケアに活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	書類の作り直しに当たって窓口に出向いたり電話で指導を仰いだり、日頃より連絡して助言をもらっている。		市町村の担当者との連携により、サービスの向上や課題解決に向けて協働出来る関係作りが望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族には「わかくさ通信」とともに職員の異動、行事予定、写真、近況報告、金銭出納帳のコピー等を月1回郵送している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を設け、玄関には意見箱が設置されている。家族からの要望、意見は申し送りノートに記入しスタッフ会議で検討し改善を図っている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理職員の異動交代が多いが、入居者にダメージがないよう全員で配慮している。現在は入居者の担当を決めて落ち着いている。		法人内での職員の異動が多く、入居者や家族に不安を抱かせないためにも更なる配慮、工夫が望まれる。管理者の異動は最小限に留められる取り組みを望みたい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、防災の講習を受講したり、職員も能力に応じ、また希望する研修に随時参加している。		受講の資料を回覧するだけに留めず内部研修として活用し全職員に還元される取り組みが望まれる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に入っている。現在は会への出席、交流はないが機会が持てるよう努めている。		同業者との交流を通して意見交換するなかでホームの改善点、サービスの質の向上に繋がるのが期待される。。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居時、本人の生活暦、環境の把握や、家族との話し合いの中から最善の支援を探り、様子を見ながら焦らず個々のペースに合わせて援助している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>人生の先輩である入居者からは人生訓を教わることが多い。個々の力を生かして食事準備、洗濯物干し、たみ等を一緒に行っている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>自らの希望や意向を表現できる入居者には、本人の話しをじっくり聞き、実現できるよう支援している。聞き取りの困難な入居者の場合は家族に面会を依頼し、話し合いの中から把握するよう努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>計画作成担当者や職員の交代が頻繁で関係者揃っての介護計画を作成するには至っていない。また、作成された介護計画書を全家族から承認を得ることも必要と思われる。</p>		<p>最近になってようやく管理職員の定着がみられるようになった。また、以前は兼務していた計画作成担当者が専任になることでもあり、今後は家族も含めチームでの介護計画作成を期待したい。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>月1回の職員会議で状態変化の見られた入居者についてはカンファレンスを行い、介護計画を見直している。状態変化のない入居者の見直しは十分とは言えない。</p>		<p>今後は計画作成担当者も専任になり、時間的に余裕が出来ると思われるのでモニタリングを含め、変化のない人や全ての入居者の計画の見直しを希望したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の要望に応じて個別に買い物支援や、系列の介護老人保健施設の大浴場で週2回の入浴支援等を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者は基本的に入所前からのかかりつけ医に継続受診している。緊急時にはホームの協力医療機関での受診もある。また、定期受診は家族にお願いしているが、入居者の身体状況によっては、職員も同行し支援することがある。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現時点では終末期のケアは行っていない。重度化した場合は系列の介護老人保健施設に対応してもらっている。しかし、今後は法人や家族等と話し合いを行い要望を尊重していきたい意向はある。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	全職員がトイレ誘導時は耳元で声かけをしたり、入居者それぞれを「さん」付けて呼ぶ等、基本的な言葉かけには特に注意をしている。記録等は事務所、個々の重要書類は鍵のかかる書庫で管理している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の中には食事に時間のかかる人や、朝早く起きて行動する人もおり、それぞれの生活のペースを尊重し、支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々の献立は介護老人保健施設のメニューで調理されることが多い。時には漁師をしている家族からの差し入れで献立が変更になることもある。彩りも良く食欲をそそる食事が提供されている。また、入居者の中には野菜を刻む、テーブルを拭く等食事の準備に職員と一緒に関わり自分の出来ることを行っている方もいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	グループホームでは週2回の入浴になっている。他に、希望者へは系列の介護老人保健施設の大きなお風呂での入浴の支援を行っている。入居者も気分が変わり大きなお風呂での入浴を楽しみにしている人が多い。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者には各自の出来ることをやらせよう。食事の準備で野菜を刻む、テーブルを拭く、食後の食器洗い、洗濯を干す、たたむ、また裁縫の得意な方が雑巾作りをする等、出来ることを支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	隣接しているスーパーマーケットにはほぼ毎日入居者と一緒買い物に出かけている。また、老健施設で行われるイベントの参加や、全員で大型ショッピングセンターに買い物に行くこともある。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関の鍵はかけていない。入居者は自由に外にでられるようになっている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昨年まではなかった災害対策マニュアルが整備され、消防署の協力を得て防災訓練が行われた。ホーム向いの自動車整備工場の駐車場を避難場所としての使用をお願いし、口頭での了承をもらった。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	系列の老人保健施設の献立表で調理を行っており、栄養バランスは概ね確保できている。水分量に関しては特に配慮し支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物内は全てバリアフリーになっており、廊下、トイレ、浴室はゆったりとした造りになっている。リビングは明るく温かい雰囲気を感じられ、紅葉をあしらった紙細工で季節感を出している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の中には思い出の家具等を置き、各自工夫を凝らした部屋で生活されている。各居室には作り付けの大きな収納庫があり、全体に持ち込み家具等は少ない感じがしたが、皆それぞれ安心して過ごされている。		